

赤シートを使って暗記・確認用に利用して下さい。

留侯張良は、その先祖は韓の人である。

祖父は開地といい、韓の昭侯・宣惠王・襄哀王に大臣として仕えた。

留侯張良は、其の先は韓人なり。大父は開地、韓の昭侯・宣惠王・襄哀王に相たり。

父は平といい、釐王、悼惠王に大臣として仕えた。悼惠王の二十三年、平は死んだ。(平が)死んで二十年後、秦が韓を滅ぼした。

父は平、釐王・悼惠王に相たり。悼惠王の二十三年、平卒す。卒して二十歳、秦韓を滅ぼす。

良は年が若く、まだ韓に役人として仕えていなかった。韓が敗れたとき、良の召し使いが三百人いた。

良年少くして、未だ韓に宦事せず。韓破れしとき、良の家僮二百人あり。

弟が死んでも弔わないで、すべての家財を投げ出して食客を求め、秦王を刺し殺して韓のために仇を報いようとした。

弟死せしも葬らずして、悉く家財を以つて客を求め、秦王を刺して韓の為に仇を報いんとす。

祖父・父が五代の韓王の大臣であったためである。

大父・父五世韓に相たりしを以つての故なり。

良はかつて礼を淮陽で学び、東方の倉海君に謁見して、力の強い男を得て、重さ百二十斤の鉄製の槌(つち)を作った。

良嘗て礼を淮陽に学び、東のかた倉海君に見えて、力士を得、鉄椎の重さ百二十斤なるを為る。

秦の皇帝が東方に出かけたとき、良は食客と秦の皇帝を博浪沙で狙撃し、謝つて副車に当たった。

秦の皇帝東游するや、良客と秦の皇帝を博浪沙の中に狙撃し、誤りて副車に中つ。

秦の皇帝は大いに怒った。大々に天下に知らせて、謀反者を探したことが非常に厳しかったのは、張良のしたことによるのである。

秦の皇帝大いに怒る。大いに天下に索めて、賊を求むること甚だ急なるは、張良の為の故なり。

良はそこで姓名を変えて、下邳に逃げ隠れた。

良乃ち名姓を更へて、下邳に亡げ匿る。

※読解に際して注意すべき点等※

・内容がよく分からるので、その分読み、句形、書き下し等の文法的な問題が来るっぽい。メインは長恨歌だろうが。

・「韓人」「相す」「卒す」「少し」「悉く」「以つて」「故」「見ゆ」「為る」「中(名詞)」「中つ(動詞)」「甚だ」「乃ち」読みと意味確認。

・「未だ韓に宦事せず」とか問題になりそう。(『未宦事韓』は『いまだかんにかんじせず』と読む。適当な返り点を施せ。)とか)

・他にも第二段落は全体的に「返り点施せ」問題にしやすいので、白文、訓読文、書き下し文、全て暗誦しておきたい。

・この作品の名、作者は漢字で書けるようにしておく。作品名「史記」、作者名「司馬遷」。教養として知っておきたいレベル。

※恐らく何箇所か誤りがあると思いますが勘弁して下さい。専門はあくまで古文ついで。